

對支通信事業調査會

滿支情報 第一一七號 (一〇一六)

電務局外國電信課

經濟委員會の組織擴大

新任冀察經濟委員會委員長李思浩は同會の組織を擴大して參議廳を設け沈能毅を總參議となす外、其外、同會内部を擴大すべく考案中 (一〇一九) 申報

冀察政務常務委員

冀察政務委員會にては十月十六日の會議に於て秦德純、賈德耀、齊燮元の三名を常務委員に選定せり (一〇一八申報)

石友三冀北保安司令に新任

冀察綏靖公署は冀北邊區保安司令部を新設し石友三を司令に充任せり (一〇二〇申報)

龍烟鐵礦は支那第一

龍烟鐵礦籌備委員長に任命されたる陸宗輿は語る

龍烟鐵礦は資本金五百萬元で (官民合辦) 大正八年創立され察哈爾省龍關縣及烟筒山に礦區を察し埋藏量五千萬噸以上、含分量五〇・一六〇%あり太谷と山西の埋藏量各三千萬噸含分量四〇%に比し遙に優秀にして支那第一の富礦といへる。熔鑄爐は北平附近の石景山に設けたが資金不

59

足のため殆ど製鐵せず且鐵價下落のため營業不振に陥り遂に昭和三年全業を閉鎖し今日に及べる次第で負債二百萬圓ある故、復活するには先づこれを整理しなければならぬ。復活事業資金は鉄鐵だけならば數百萬元で足りるが製鋼するとなると一千萬元以上を要する (一〇二一申報) (一〇二二大公報) 三滿日

北支、日本紡績の發展

北支に於ける日本の經濟活動は最近顯著なるものがあるが紡績事業の進出は最盛にして支那入經營の天津附近に於ける紡績工場は六ヶ處ありたるを四ヶ處は既に日本人に買収され、この外日本人の天津に工場を設立したるもの少なからず、近くその紡績数は八十八萬錠に達すべく、織機も天津だけにて一萬二千台を超え、又青島地方に於ても大擴張を行ひ明春までには六十萬錠、二萬二千台となり大發展をなすならむが、其原因は (一) 支那棉の品質近來向上して米棉との相異少なきに七八圓低廉なること (二) 北支の課税は一俵上等棉十一圓粗粒八圓五十錢を徵收するに過ぎざること (三) 北支に生産額を制限せざること (四) 勞働時間に制限なきこと (五) 勞銀日本の三分の一に足ること (六) 電力料金日本の百分の二十なること等有利の條件を具ふるためなり (一〇一五申報)